

## 福岡市環境教育・学習計画推進協議会資料

## 福岡市の施策の展開について

【基本的方向】	(ページ)
1 市民一人ひとりの環境保全活動の実践及び地域の環境保全活動への参加促進……………	1
2 地域における環境保全活動リーダーやコーディネーターの育成……………	5
3 あらゆる世代・対象者に対応した環境教育・学習プログラムの充実……………	6
4 客観的で正確な最新情報の提供及び伝達手段と伝達内容の工夫……………	8
5 市の環境教育・学習に関する施設が持つプログラムの活用と、民間の関連施設との連携……………	10
6 市民団体の活動支援……………	12
7 事業者への情報提供と事業者間の環境分野の共同取組みの支援……………	13
8 行政と市民団体・事業者等との共働による事業企画・実施及び事業評価による施策推進……………	15
9 学校（小中学校，高校，大学）での環境教育・学習の推進と教員が環境について体系的に学ぶ場の検討……………	16
10 あらゆる主体のネットワーク化の推進と各主体が連携した環境教育・学習の取組の充実……………	17

## 市民一人ひとりの環境保全活動の実践及び地域の環境保全活動への参加促進

市民一人ひとりが身の回りの環境の大切さに気づき、できるだけ多くの人々のあいだに環境に配慮した行動が広がっていくよう、環境について気軽に学べる講座の開催や地域の環境特性を活かした各種啓発事業等を実施する。また、環境保全活動に意欲を持って取り組もうとする人に対する支援を行う。

### ◆地域の環境特性を活かした各種環境啓発事業の実施

★は重要事業

事業名	内容	実績等
企業連携によるエコ農業推進事業	西部ガス(株)・JAと連携し、耕作放棄地を整備し、生ごみたい肥の投入や減農薬による循環型農業を実施。市民ボランティアを募り、農作業体験等を開催	体験教室 毎年4回 ○
★ 身近な公園個性化事業	地域の環境や個性を生かしたユニークな公園づくりをするとともに、その後の維持管理への積極的な住民参加を促す	現在47ヶ所整備 ○
★ 区独自事業・東区(多々良川ゆめプラン事業)	多々良川について、市民やNPOなどとの共働により、歴史・魅力の再発見や新たな魅力づくり・PRを行い、これを活かしたまちづくりを進める	シロウオ 遡上数 29万尾 △
区独自事業・東区(立花山・三日月山ふれあいの森づくり事業)	立花山・三日月山の更なる魅力を高めるため、市民やNPOなどと共働して、市民参加による登山ルートの維持管理や森林保全などを行う	清掃登山 参加者 338人 ○
区の魅力づくり事業・中央区(花いっぱい運動)	地域コミュニティの向上や青少年の健全育成、違法駐輪・ゴミのポイ捨て防止などを目的に住民・企業及び行政と一緒に花植えや花の日常管理を行う	毎年継続 実施 ○
★ 区独自事業・南区(ため池むずびまちづくり事業)	南区の景観の特色である56のため池や那珂川などの水辺や油山・鴻巣山の緑などの自然を身近に感じられるよう、環境整備等を市民と共働で推進する	瓢箪池整 備工事实 施 ○
区独自事業・南区(南区地域環境活動セミナー)	市民を対象に幅広い環境問題について楽しく体験学習することで、地域環境活動を担う人材の発掘・育成を推進する	受講者 15人 ○
区独自事業・南区(南区出前講座)	南区の自然・地球温暖化・循環型社会の現状を認識してもらおう出前講座を実施	受講者 623人 ◎
★ 区独自事業・城南区(油山の魅力発信・ハチクマウォッチング)	城南区の自然資源である油山の魅力を広く市民に対して発信し、身近な自然の良さを知ってもらう。また、日本野鳥の会福岡と共催して、ハチクマの渡りを観察する機会を提供する	HPによる 発信・観 察会実施 ○
区独自事業・城南区(城南区環境サポーター育成・支援事業)	環境問題に関し、主体的に取り組む「城南区環境サポーターの会」によるごみ問題や省エネ・省資源などの環境に関する活動を支援	環境美 化・施設 見学実施 ○
区独自事業・城南区(歩きたくなるまちづくり事業)	区のウォーキングマップ(城歩マップ)を活用したウォーキンググループの育成や、公共の場で花づくりをする市民活動を支援する	グループ数 10 ○

室見川水系一斉清掃	室見川(金屑川・油山川)水系の上流から下流まで一斉に清掃を行い、環境保全や自然とのふれあいを推進する	清掃参加 4188人	○
区独自事業・西区(環境をまもる人づくり地域づくり事業)	市民の自主的で自律的な環境活動を推進するため、地域のリーダーとなる人材を発掘・育成し、その活動を支援する	活動団体 数 10	○

◆自主的な環境保全活動に対する補助事業

★は重要事業

事業名	内容	実績等	
★ エコ発する事業	市民団体やNPOなどが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動への支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりを進める	助成団体 22件	○
★ 太陽光発電システム設置補助	福岡市地域温暖化防止市民協議会と連携し、市内の太陽光発電設備設置予定者に対し、1件あたり10万円の補助を実施	補助件数 1496件	○
★ 省エネチャレンジ応援事業	家庭での省エネ行動に応じてポイント(ニモカ、はやかけん等)を付与	夏季 688 冬季 701 世帯	○
★ 地域集団回収等報奨制度	集団回収等実施団体等に回収量等に応じた報奨金を交付し、回収活動を促進する	回収実績 36321t	○
生ごみ処理機等購入費助成制度	家庭から排出される可燃ごみの中で割合の大きい生ごみの減量・リサイクルを促進するため、電動式生ごみ処理機と堆肥化容器の購入費を助成	ご 151基 堆 190基	○
緑の活動支援事業	樹林地等の保全管理を行う「地域の森づくり」、地域の公共用地や空地で花壇づくり等を行う「地域の花づくり」を行う団体等の自主的な活動を支援	支援団体 106	○
河川浄化報償金	河川の清潔保持に協力し、河川の清掃及び除草等の河川環境の浄化を行う団体に対して報償金を交付	12団体 51km	○
治水池環境美化活動報奨金	治水池環境の保全に協力し、治水池の清掃及び除草等の治水池の美化活動を行う団体に対して報奨金を交付	5団体	○
花と緑のまちづくり推進事業	地域が主体となって取り組む、花と緑溢れる道づくりや庭づくりを奨励支援し、憩いと潤いのあるまちづくりを推進する	街路花壇 の管理	○

◆気軽に環境について学べる講座の実施

★は重要事業

事業名	内容	実績等	
★ 出前講座	地球温暖化やごみ減量リサイクルに関するテーマについて、地域・学校・企業等を対象に出前講座を実施	受講者数 2091人	○
環境を知る講座	市民や市内通勤・通学者を対象に、全4回の環境講座を実施	参加者数 延べ77	△
生ごみ堆肥化市民啓発事業	クリーンパーク・東部内及び立花寺1丁目種苗育成施設内菜園において、生ごみ堆肥の作り方や堆肥を活用した耕作についての市民講座を実施	参加者数 353人	○

## ◆環境保全活動を実践するための場の提供

★は重要事業

事業名	内容	実績等
★ 拠点での資源物回収事業	市民に身近な場所に資源回収拠点を設置し、地域住民等の参加を得て、資源物回収を行う	設置数 417ヶ所 ○

## ◆環境保全活動を広げていくための啓発事業

★は重要事業

事業名	内容	実績等
★ エコウェイブ・ふくおか	2007年に開催したアジア太平洋環境会議(エコアジア)を契機とし、年間を通して市民・事業者とともに全市的に行う環境に配慮した取組みの総称	名称の普及・定着 ○
環境フェスティバルふくおか	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催	来場者数 38000人 ○
★ ノーマイカーウィークデーの推進	祝・祭日を除く全ての平日を「ノーマイカーウィークデー」とし、市民・事業者に対して不要不急のマイカー運行の自粛や公共交通機関の利用等を呼びかける	チラシ配布 2500枚 ○
★ エコドライブの普及促進	市民・事業者に対して、エコドライブを普及促進するための啓発等を実施	事業所 650 社等へ啓発 ○
低公害車の普及促進	本市庁用車における低公害車の率先導入や事業者に対する買換資金の融資等のインセンティブ施策を実施	低公害車等 導入(市) 約83% ○
★ シーサイドバイクの運用開始(コミュニティサイクル社会実験) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	自転車を利用した低炭素社会の実現(自動車からの排出ガスの抑制)を目的に、複数の自転車のステーションをネットワークでつなぐことにより、各ステーションで自転車の貸出・返却が自由に出来るコミュニティサイクルの社会実験実施	ステーション 設置数 5か所 ○
★ 地球温暖化問題に関する広報	地球温暖化問題を広く市民一人ひとりに周知するため、市の広報誌や出前講座等を活用した広報活動を実施	市政だより 特集号発行 ○
★ 「緑のカーテン」プロジェクト	朝顔やゴーヤ等で市庁舎の壁面を緑化することで、地球温暖化対策、花・緑による安らぎ感の創出などの環境の改善を図る	実施施設 180 ○
★ 市有施設における再生可能エネルギー導入推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	「市有施設における再生可能エネルギーの先導的導入を進め、市民・事業者への導入を推進する」を基本方針として、再生可能エネルギー活用を推進	導入施設数 157 ○
★ 3R推進啓発事業	3Rの内容を市民に周知・浸透させ、マイバッグ持参など日常生活の具体的な行動に結びつけていくための広報啓発	協定参加 34事業所 ○
★ モラル・マナー向上市民啓発事業	市民・ボランティア団体、事業者、行政が一体となって清掃活動、落書き消し、交通マナー啓発等を行うキャンペーンを実施	歩行者喫煙 者率減少 ○
環境1日乗車券「エコちかきっぷ」の発売	休日における都心部の渋滞緩和や地球温暖化防止に少しでも寄与できるようお得な環境1日乗車券「エコちかきっぷ」を発売	販売枚数 139万枚 ○

「SUBWAY DIET」事業	「駅まで歩く、駅から歩く」をスローガンに、地下鉄利用による環境貢献や健康づくりなど、地下鉄を含むライフスタイルを提案するプロモーション活動の実施	ふらりスナッフ 大賞実施	○
節水意識の高揚	キャンペーンや水道施設見学会などの各種イベント及び各種印刷物・ビデオ制作などの広報活動を通じて、市民の節水意識の高揚を図る	節水意識 90%	○
学校給食牛乳パックのリサイクル	児童生徒が洗浄、乾燥した使用済みの学校給食用牛乳紙パックを回収し、再生紙の原料として再生利用する	回収量 86t	○

## 地域における環境保全活動リーダーやコーディネーターの育成

地域での環境保全活動を広げていくため、環境に関する正しい知識、技術とともに、一人ひとりの思いや考え方を受け止めながら、環境保全活動をつなぎ広げていく技術を身につけた人材の育成が必要となっており、リーダー等を育成する講座や人材の紹介並びに功労者の表彰等を行う。

### ◆市民団体・事業者等と連携を図りながら、リーダー等を育成する講座の実施

事業名	内容	実績等
環境保全活動リーダー講座	環境を考え感じる心、行動の裏づけとなる知識、人に思いを伝え広げるための技術を有した人材を育成するための環境講座を実施	参加者数 延べ62人 ○
スキルアップ講座	環境保全活動リーダー講座修了生を対象に環境保全に取り組む人材の資質をさらに高めるための環境講座を実施	参加者数 延べ40人 ○
区独自事業・南区(南区地域環境活動セミナー) 【1の再掲】	一般市民を対象に幅広い環境問題について楽しく体験学習することで、地域環境活動を担う人材の発掘・育成を推進する	受講者 15人 ○
区独自事業・城南区(城南区環境サポーター育成・支援事業)【1の再掲】	環境問題に関し、主体的に取り組む「城南区環境サポーターの会」によるごみ問題や省エネ・省資源などの環境に関する活動を支援	環境美化・施設見学実施 ○
区独自事業・西区(環境をまもる人づくり地域づくり事業)【1の再掲】	市民の自主的で自律的な環境活動を推進するため、地域のリーダーとなる人材を発掘・育成し、その活動を支援する	活動団体数 10 ○

### ◆地域で自主的な活動を行っている人や団体の表彰

事業名	内容	実績等
福岡市環境行動賞	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰	表彰 85件 ○

### ◆環境教育・学習を推進できる人の発掘・紹介

事業名	内容	実績等
環境教育学習人材リスト	環境カウンセラー、環境に関する知識・経験を備えた方々の講師情報をとりまとめ、「環境教育・学習人材リスト」をホームページ上で公開	登録人材 51人 ○
福岡市緑のコーディネーター制度	花や緑に関する知識や技術に有する人を市長が認定し、分野ごとに登録した人材バンク制度で、公民館等へ派遣を行い、地域活動を支援	登録人材 158人 ○

### ◆リーダーやコーディネーターが活動する場の提供

事業名	内容	実績等
環境フェスティバルふくおか【1の再掲】	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催	来場者数 38000人 ○

## あらゆる世代・対象者に対応した環境教育・学習プログラムの充実

幼児期から年長者まであらゆる人々が、身の回りの環境に気づき、学び、考え、行動することを継続して行っていくことが必要であるため、年齢・対象者別に対応した様々な環境教育・学習プログラムを整備します。特に、幼児期、小学校低学年に対応したプログラムの作成に重点的に取り組む。

### ◆幼児期、小学校低学年を対象とした、感性に訴えるプログラムの充実

事業名	内容	実績等
わくわくエコ教室	保育園・幼稚園・小学校低学年を対象に、希望のあった学校等に出かけ、環境教育・学習プログラムの出前講座や自然観察会を実施	開催数 76回 ◎
こどもエコクラブ	環境保全活動を行っている小・中学生を対象に、地域や学校で環境保全について実践活動を行うグループの結成を呼びかけ、支援	会員数 149人 △

### ◆実体験を重視したプログラムの充実

★は重要事業

事業名	内容	実績等
環境デー事業	市に在住するか通学している小・中学生とその保護者を対象に、自然観察会など市民参加・体験型の事業を実施	参加者数 延べ142人 ○
★ビオトープ教室(生物出現状況調査)	クリーンパーク・臨海内ビオトープにおける生物出現状況調査と併せて市民参加によるビオトープ教室を実施	参加者数 25人 ○
★カブトガニ放流会	絶滅の危機に瀕しているカブトガニの現状を認識するとともに、標識調査の用に供したカブトガニの放流を地元小学生等により実施	実施 今津小 ○
油山自然観察の森	展示室や研修室、資料室などを楽しく自然を学べる施設からなる自然観察センターが整備されており、各種講座や自然観察会を実施	入場者数 15000人 ○
動物園の環境教育学習プログラム	動物の飼育体験やレクチャー、ガイドツアー等を通して、動物愛護や野生生物保護・地球環境保全への理解を深める学習プログラムを実施	こども体験教室 ○
自然教室開催	原則として小学5年生及び中学1年生を対象に、背振少年自然の家及び海の中道青少年海の家等で、自然教室を実施	小中学校 全て実施 ○

### ◆エネルギー教育、食育の視点を取り入れたプログラムの充実

★は重要事業

事業名	内容	実績等
★スマートハウスプロジェクトの推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	最先端のエネルギーマネジメントシステムを備えたスマートハウスを体感してもらうため、スマートハウス常設展示場を運営	来場者数 1874人 ○
★事業系食品廃棄物リサイクル推進事業	事業所から排出されるごみの中で、紙類に次いで多くの割合を占める食品廃棄物について、更なる減量・リサイクルを推進	事業者に対する支援 ○

学校給食残滓のリサイクル	学校給食で発生する残滓及びパンの一部を回収し、飼料の原料として再生利用を行う	回収量 1014t	○
学校給食廃油のリサイクル	学校給食で使用した食用油を全量回収し、給食センターに設置しているリサイクルボイラーで燃料として使用するほか、バイオディーゼル燃料として売却	売払い量 57t	○

◆高校生・大学生・社会人に対応したプログラムの充実

事業名	内容	実績等	
環境啓発U-30事業	特に30歳以下の若者を対象とした環境啓発について、より啓発効果が高まるように同世代からの働きかけによる環境啓発事業を実施	環境活動 発表会	○
環境を知る講座 【1の再掲】	市民や市内通勤・通学者を対象に、全4回の環境講座を実施	参加者数 延べ77	△



## 客観的で正確な最新情報の提供及び伝達手段と伝達内容の工夫

市民の環境への関心を高めるとともに、環境保全への正しい行動実践へつなげていくため、日々更新される多様な情報を整理し、多くの受け手に届く手段によりわかりやすい情報を発信する。また、まもる一む福岡等の既存の環境教育・学習施設の内容充実を図る。

### ◆まもる一む福岡等の既存の環境教育・学習施設の内容充実

事業名	内容	実績等
まもる一む福岡の運営	保健環境研究所1Fに保健環境学習室「まもる一む福岡」を設置。体験学習実験や検索学習システムを通じ、楽しみながら環境について学ぶことができる	来場者数 10124人 ○
3Rステーション事業	市民へのごみ減量・リサイクルに関する情報提供、体験・活動の場の提供、各種講座やイベントの開催を行うとともに、不用品の受入・提供等を実施	入館者数 11.5万人 ○
植物園	花や緑に関する相談や講座、観察会や展示会の開催など都市緑化の普及啓発に関する様々な事業を実施	緑の相談 5283件 ○
動物園の環境教育学習プログラム【3の再掲】	動物の飼育体験やレクチャー、ガイドツアー等を通して、動物愛護や野生生物保護・地球環境保全への理解を深める学習プログラムを実施	こども体験教室 ○
下水道PR事業	ぼんプラザ2階に下水道PRコーナーを設置し、下水道に関するパネル等を常設展示、下水道フェアの開催など	フェア参加 18758名 ○

### ◆様々なメディアを利用して客観的で正確な最新の環境情報の発信

★は重要事業

事業名	内容	実績等
環境学習のためのホームページの運用	市民の環境学習を支援するため、ホームページ「福岡市の環境 学ぼう！つなごう！ふくおかの環境」で、環境に関する情報を収集・提供	アクセス数 17万件 ○
子ども向け環境情報ウェブサイト「エコッパと学ぼう！こども環境局」の運用	環境に関する問題を楽しく学習できるように、小・中学生や学校の先生方を対象とした情報を提供	アクセス数 1万7千件 ○
★地球温暖化問題に関する広報【1の再掲】	地球温暖化問題を広く市民一人ひとりに周知するため、市の広報誌や出前講座等を活用した広報活動を実施	市政だより 特集号発行 ○
大気の常時監視	大気汚染防止法に基づき大気の汚染状況を把握するために、市内に設置した大気環境測定局の自動測定機により24時間連続的に監視	一般環境 大気8局 ○
★黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策新規	黄砂の健康や生活への影響、市民が必要とする情報の提供方法などを検討し、暫定的に予測方法や行動のめやすを設定するとともに、PM2.5予測情報の提供を開始	H25.2～ PM2.5 予測情報 ○
公共用水域の常時監視	水質汚濁防止法に基づく公共用水域の水質や低質等の状況を把握するため、市内の河川と博多湾、及び主な海水浴場において調査を実施	環境基準 達成 ○

騒音・振動の監視	騒音規制法や振動規制法などにに基づき自動車交通・航空機・新幹線・在来線の騒音と振動の調査を実施	ほぼ環境基準達成	○
ごみ減量広報・啓発活動	市民へごみ減量・リサイクルの啓発を行うため、大都市減量化・資源化共同キャンペーンを実施するとともに、市外からの転入者向けごみルールブックを作成	ルールブック 92500部	○
ボランティア情報ホームページ	市民のボランティア団体紹介など、ボランティアに関する情報を福岡市NPO・ボランティア交流センターホームページで提供	団体数 820団体	○
節水意識の高揚 【1の再掲】	キャンペーンや水道施設見学会などの各種イベント及び各種印刷物・ビデオ制作などの広報活動を通じて、市民の節水意識の高揚を図る	節水意識 90%	○

◆情報の受け手側のニーズの把握を行い、情報発信内容の工夫の実施

市民が身近な場所で実体験を通じて環境への関心を広げていけるよう、民間も含めた福岡市内にある環境教育・学習に関連する施設を紹介するとともに、それぞれの施設に点在している環境教育・学習プログラムを調査し、それらを連携させたプログラムを作成します。

◆民間の施設も含めた環境教育・学習施設が持つプログラムの調査・連携

★は重要事業

事業名	内容	実績等	
まもる一む福岡の運営 【4の再掲】	保健環境研究所1階に保健環境学習室「まもる一む福岡」を設置し、「体験学習実験」や検索学習システムを通じ、楽しみながら環境について学ばせる	来場者数 10124人	○
★スマートハウスプロジェクトの推進【3の再掲】 新規	最先端のエネルギーマネジメントシステムを備えたスマートハウスを体感してもらうため、スマートハウス常設展示場を運営	来場者数 1874人	○
3Rステーション事業 【4の再掲】	市民へのごみ減量・リサイクルに関する情報提供、体験・活動の場の提供、各種講座やイベントの開催を行うとともに、不用品の受入・提供等を実施	入場者数 12万件	○
少年科学文化会館による鉱物視察(磯)	児童生徒の科学に対する関心と理解を深め、その健全な育成を図るため、野外において親と子の自然観察(鉱物など)を実施	参加者数 45人	○
背振少年自然の家	背振少年自然の家は背振山の中腹に位置しており、当施設での様々な活動を通して、自然とのふれあいの場を提供	利用者数 28737人	○
海の中道青少年海の家	自然に直接触れ、「環境保全活動」「自然観察活動」「自然体験活動」「総合的環境学習」等で様々な活動プログラムを準備し、環境教育・学習を実施	活動プログラム 29	○
「博多町家」ふるさと館	1年を通して「山笠展」や「夏まつり」、「もちつき」、「ひな祭り」等の博多の季節行事を実施し、博多文化の伝承の場として運営	観覧者数 16万人	○
企業連携によるエコ農業推進事業 【1の再掲】	西部ガス(株)・JAと連携し、耕作放棄地を整備し、生ごみたい肥の投入や減農薬による循環型農業を実施。市民ボランティアを募り、農作業体験等を開催	体験教室 等年4回	○
も〜も〜らんど油山牧場	自然の中で乳牛や小動物たちと市民がふれあえる場を提供、搾乳体験や畜産資料展示館を通して畜産への理解を深める	入場者数 344千人	○
今津リフレッシュ農園	休憩ハウス付農園や集合農園を西区今津に開園、作物栽培や収穫体験を通じ、農業への理解を深め、心身リフレッシュの場を提供	入場者数 99千人	○
油山市民の森	市民のリフレッシュのためのオアシスとして利用されている、自然観察や手頃なハイキングコースとしても利用できる	入場者数 178千人	○
花畑園芸公園	年間を通して園芸についてのさまざまな知識が得られる「園芸講座」や「園芸相談」を実施し、気軽に憩える場として市民に提供	入場者数 218千人	○

油山自然観察の森 【3の再掲】	展示室や研修室、資料室などを楽しく自然を学べる施設からなる自然観察センターが整備されており、各種講座や自然観察会を実施	入場者数 15000人	○
立花寺緑地リフレッシュ農園	余暇活用や健康増進、農業への理解を深めるため、市民に野菜・花などの栽培体験や公園としての憩いの場である農園を提供	入場者数 106千人	○
こども動物園	福岡市動物園の「こども動物園」のエリアで、保育園・幼稚園・小学校低学年の児童を対象に「ふれあい教室」などを実施	ほぼ毎日 開園	○
植物園	花や緑に関する相談や講座、観察会や展示会の開催など都市緑化の普及啓発に関する様々な事業を実施	緑の相談 5283件	○
博物館	郷土の歴史的特性を踏まえ、各時代の大陸との交流に焦点を絞り、福岡の歴史やくらしを展示することを基本テーマとしている	観覧者数 245千人	○
アイランドシティ中央公園	花と緑がテーマの「体験学習施設ぐりんぐりん」などがある緑と水に囲まれた公園		
マリワールド海の中道	350種の海の生き物を映像・音響、水中カメラなどバラエティ豊かな展示方法で楽しく学べる施設		
九州エネルギー館	電気をはじめとする様々なエネルギーについて、実際に体験しながら学べる施設		

## 市民団体の活動支援

目的実現に向けて、柔軟性に富んだ活動をすばやく地域密着型で展開できる市民団体の役割は大きくなりつつあることから、市民団体の活動がより活発に行われるよう、活動を行うにあたって課題となっている資金・機会・情報面について効果的な支援を行う。

### ◆活動の場の提供

事業名	内容	実績等
エコルーム	環境保全活動を行う団体への支援の一つとして、クリーンパーク臨海に環境NPO等活動拠点支援施設「エコルーム」を作り、活動拠点スペースとして提供	利用頻度 月2程度 △
あすみん	市民主体のまちづくり実現のため、NPOやボランティア活動をはじめとする様々な市民公益活動の情報・交流の場を提供	利用者数 34158人 ○

### ◆環境市民ファンド等による活動に応じた助成

★は重要事業

事業名	内容	実績等
★ エコ発する事業【1の再掲】	市民団体やNPO法人などが自ら発意・企画し、主体的に行う環境活動への支援を行うとともに、団体間のネットワークづくりを進める	助成団体 22件 ○

### ◆市民団体間の情報交換のための、市HPの活用や交流会の開催

事業名	内容	実績等
環境教育・活動の支援のためのホームページの運用【4の再掲】	市民団体の環境活動を支援するため、ホームページ「福岡市の環境 学ぼう！つなごう！ふくおかの環境」で、環境に関する情報を収集・提供	アクセス数 178012 ○

### ◆市民団体と行政との共働事業の実施

★は重要事業

事業名	内容	実績等
★ 共働事業提案制度	NPOの斬新なアイデアや専門性を活かした企画提案を募集し、採択された事業について、NPOと市が、共働での事業への取組みを実施	実施団体 7団体 ○

## 事業者への情報提供と事業者間の環境分野の共同取組みの支援

中小企業の割合が多いという福岡市の特徴を捉え、負担の少ない環境マネジメントシステムの導入を推進する。また事業者が他の主体が行う活動への人的、物的、資金的な面での参加・協力の取組や事業者間の環境分野の共同による取組みを進めていくための情報提供を行う。

### ◆事業者の環境に配慮した行動を促進するための情報提供

事業名	内容	実績等	
事業所ごみ減量指導	事業所のごみ減量・再資源化を図るため、延床面積 1000 m <sup>2</sup> 超の所有者等へ紙使用量抑制などによりごみ減量・リサイクルに努めるよう指導	指導等 1483 件	○
産業廃棄物排出事業者の監視・指導	市民が安心して生活していく上で、産業廃棄物の適正な処理は不可欠であるから、排出事業所等への立入検査を行い、適正処理を指導	立入件数 1431 件	○
産業廃棄物処理業者の指導	産業廃棄物の不適正処理が発生した場合に周辺環境へ著しい影響を及ぼすおそれがあることから、処理業者等への立入検査を行い、適正処理を指導	立入件数 793 件	○
公共工事における産業廃棄物の有効利用の推進	公共工事における建設系廃棄物のリサイクル及び適正処理推進のため、庁内関係部局による情報交換、調査研究等を実施	リサイクル率 100%	○
産業廃棄物に関する啓発	産業廃棄物に関する認識向上、減量化・有効利用及び適正処理推進のため、事業者及び処理業者を対象とした講習会及び説明会を実施	受講者数 674 人	○

### ◆環境に配慮した優れた取組みを実施している事業者の表彰

事業名	内容	実績等	
福岡市環境行動賞【2の再掲】	地球温暖化防止やごみ減量などに先進的・継続的に取り組み環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体などを表彰	表彰 85 件	○

### ◆エコアクション 21 などの環境マネジメントシステムの導入推進

事業名	内容	実績等	
エコアクション 21 取得支援事業	環境省が推進している中小企業者等向け簡易版環境マネジメントシステム(EMS)である「エコアクション 21(EA21)」の市内事業者への普及を図る	セミナー参加 36 事業者	○
社会貢献優良企業(環境配慮型事業所)優遇制度	企業の社会や市・地域への貢献活動を評価し、社会貢献度の高い市内に本店のある中小企業に対して、福岡市との契約において優先指名する等の優遇制度を設ける	認定業者 36 社	○
地域中小企業に対する支援ISO構築・監査員養成セミナー	ISO 取得に取り組もうとする地場中小企業支援のため、ISO14001 構築セミナー及び内部監査員養成セミナーを開催	24 年度 セミナー 開催なし	△

## ◆事業者間の環境分野の共同による取組みの推進

★は重要事業

事業名		内容	実績等	
★	事業所省エネ技術導入サポート事業	業務部門の地球温暖化対策を推進するため、省エネ専門業者から商業ビルやオフィスにある設備を活用した運転方法改善の指導を受け、省エネを図る	申請件数 16件	○
★	事業所省エネルギーアドバイザー派遣支援事業 新規	中小企業の省エネ対策として、施設の省エネ診断の実施とその後の円滑な省エネを図るための定期的な専門家(エネルギー管理士)派遣の支援を実施	申請件数 3件	○
★	事業系古紙回収推進事業	古紙回収に取り組んでいない中小事業者を対象として、関係業界の協力のもとに構築した古紙回収システムにより、効率的・効果的な古紙回収を推進	回収量 2993t	○
★	事業系ごみ資源化情報発信事業 新規	資源化に関する専用ホームページの構築により、排出事業者と資源物回収事業者が事業系ごみの資源化に関する互いの情報を共有し、回収へと繋げる	H25.3 HP 開設	○
★	事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業 新規	事業系ごみの資源化に係る技術や採算性向上に関する実証研究、資源物回収システムの構築、資源物の市場性や経済性等の社会システムに関する研究について、費用の一部を補助することでその取組を支援	補助件数 2件	○
★	事業系食品廃棄物リサイクル推進事業【3の再掲】	事業所から排出されるごみの中で、紙類に次いで多くの割合を占める食品廃棄物について、更なる減量・リサイクルを推進	事業者に対する支援	○

福岡市が行う事業をより効果的に進めていくため、事業の企画段階からの市民団体・事業者等の参画や、市民団体・事業者・学識経験者・行政等で構成する環境教育・学習計画推進協議会での定期的な施策の評価・点検を実施する。

◆環境教育・学習計画推進協議会において定期的な施策の評価・点検の実施

事業名	内容	実績等
福岡市環境教育・学習計画推進協議会	市民・事業者・行政等からなる「福岡市環境教育・学習計画推進協議会」を設置し、施策の実施状況の報告や情報・意見の交換を行う	H24.8.31 開催 ○

◆協議会の作業部会を設け、環境教育・学習プログラムの具体的な内容の検討

※市民・団体・事業者等の参画による事業

★は重要事業

事業名	内容	実績等
環境フェスティバルふくおか【1・2の再掲】	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催	来場者数 38000人 ○
環境啓発U-30事業【3の再掲】	特に30歳以下の若者を対象とした環境啓発について、より啓発効果が高まるように同世代からの働きかけによる環境啓発事業を実施	環境活動 発表会 ○
★ 福岡市地球温暖化防止市民協議会	市民・事業者・行政が協力して、地球温暖化防止に向けた積極的な実践活動の推進を図ることを目的に組織	会員数 158団体 ○
★ 生き物のにぎわい創造事業	今津干潟において地域住民と共働で里海保全再生活動を行い、地域住民が主体となって地域の生物資源の保全・利用が出来る体制を構築し、またビオトープ教室を通じて、生物多様性保全活動について市民啓発を図る	里海保全再 生活動・ビオ トープ教室 ○
福岡市自転車交通公害防止計画推進協議会	自転車交通公害対策を総合的に推進するため必要な事項を協議することを目的に設置	H24.8.30 開催 ○
循環のまち・ふくおか推進会議	市民・事業者・行政が一体となって循環型社会に向けた活動を推進するための具体的な行動を協議。また情報・意見の交換を実施	会議開催 1回 ○
和白干潟保全のつどい	和白干潟を中心に活動する市民団体等と行政が定期的に意見交換しながら、和白干潟の環境保全に向けた活動などの共働事業を企画・実施	保全活動 6回 ○



学校（小中学校，高校，大学）での環境教育・学習の推進と教員が環境について体系的に学ぶ場の検討

関係機関と連携して，小中学校等へ環境教育・学習の様々なプログラムを提供し，教科学習や総合的な学習の時間における環境教育・学習の視点をもった学習を推進するとともに，高等学校や大学における環境教育・学習を推進する。また小中学校等の教員が環境について体系的に学ぶ場の検討を行う。

◆小中学校等へ環境教育・学習の様々なプログラムの提供及び関係機関との連携

事業名	内容	実績等
わくわくエコ教室 【3の再掲】	保育園・幼稚園・小学校低学年を対象に，希望のあった学校等に出かけ，環境教育・学習プログラムの出前講座や自然観察会を実施	開催数 76回 ◎
副読本の作成	小学校での社会科，総合学習等で活用できるよう，環境とごみについて，福岡市の状況，取り組みについてまとめ，福岡市内の小中学校に配付	17000部 18000部 ○
環境学習支援事業	公共施設・公立学校等の廃棄物収集業務に携わる事業所職員が，小中学校等の環境学習に対する支援事業などを実施	支援実施 192件 ○
学校における環境教育の推進（特色ある教育推進事業）	幼・小・中学校等において環境教育をとりあげ，水や空気，エネルギーなどの様々な視点から自分自身の問題として考えさせる学習に取り組む	実施校 186校 ○
小学校における環境教育	今日的な教育の課題といわれるものに対して，教科等の特性に合わせた展開の中で，各局作成の副読本等を利用して環境教育を実施	出前授業 49回 ○

◆学校への環境教育・学習に関する情報提供の充実

事業名	内容	実績等
子ども向け環境教育ウェブサイト「エコッパと学ぼう！こども環境局」の運用【4の再掲】	環境に関する問題を楽しく学習できるように，小・中学生や学校の先生方を対象とした情報を提供	アクセス数 17813件 ○

◆小中学校等の教員が環境について体系的に学ぶことができる場の充実

◆高校や大学における環境教育・学習の推進

事業名	内容	実績等
環境啓発U-30事業 【3・8の再掲】	特に30歳以下の若者を対象とした環境啓発について，より啓発効果が高まるように同世代からの働きかけによる環境啓発事業を実施	環境活動 発表会 ○

あらゆる主体のネットワーク化の推進と各主体が連携した環境教育・学習の取組の充実

環境教育・学習の取組をさらに広げていくためには、多様な主体によるそれぞれの特徴を活かした活動をつなぎ、連携した取組を進めていくことが必要であり、福岡市環境教育・学習推進協議会等での意見交換を引き続き行うとともに、市民団体・事業者との共働による取組を実施し、学校と地域が連携した取組を推進する。

◆市民団体・事業者等との共働による環境保全に関する取組みの充実

★は重要事業

事業名	内容	実績等
環境フェスティバルふくおか【1・8の再掲】	環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型のイベントを開催	来場者数 38000人 ○
環境啓発U-30事業【3・8・9の再掲】	特に30歳以下の若者を対象とした環境啓発について、より啓発効果が高まるように同世代からの働きかけによる環境啓発事業を実施	環境活動 発表会 ○
グリーン購入ネットワークへの参加	グリーン購入を福岡県内・九州地域へ広く普及するための推進組織である「九州グリーン購入ネットワーク」に入会し、率先実行の推進を図る	会員数 164団体 ○
★「緑のカーテン」プロジェクト【1の再掲】	朝顔やゴーヤ等で市庁舎の壁面を緑化することで、地球温暖化対策、花・緑による安らぎ感の創出などの環境の改善を図る	実施施設 180 ○
★マイバッグキャンペーン	レジ袋削減協定に基づく取組の一環として、市民団体・事業者と連携してマイバッグキャンペーンを実施し、3R及びマイバッグ持参についての市民啓発を実施	持参率 50%超 ○
ラブアース・クリーンアップ事業	九州・沖縄・山口の各県や大韓民国釜山市等において、市民・企業・行政が協力し、海岸・河川・山なみの一斉清掃「ラブアース・クリーンアップ」を実施	回収量 約814t ○
★共働事業提案制度【6の再掲】	NPOの斬新なアイデアや専門性を活かした企画提案を募集し、採択された事業について、NPOと市が、共働での事業への取組を実施	実施団体 7団体 ○

◆市民・市民団体・事業者・学校・地域・行政等が  
福岡市の環境について意見交換を行う場の設置

★は重点事業

事業名	内容	実績等
福岡市環境教育・学習計画推進協議会【8の再掲】	市民・事業者・行政等からなる「福岡市環境教育・学習計画推進協議会」を設置し、施策の実施状況の報告や情報・意見の交換を行う	H24.8.31 開催 ○
★福岡市地球温暖化防止市民協議会【8の再掲】	市民・事業者・行政が協力して、地球温暖化防止に向けた積極的な実践活動の推進を図ることを目的に組織	会員数 158団体 ○
循環のまち・ふくおか推進会議	市民・事業者・行政が一体となって循環型社会に向けた活動を推進するための具体的な行動を協議。また情報・意見の交換を実施	会議開催 1回 ○

◆学校と地域が連携し、一体となって地域の問題を解決する取組みの推進・支援



環境にやさしい行動の波を起こそう！